

令和5年度 公益財団法人日立地区産業支援センター

事業報告書



令和5年度 事業報告書及び付属明細書

内閣府が発表した月例経済報告（令和6年4月）における日本経済の基調判断によると「景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。」としています。

日本銀行水戸事務所が発表した茨城県金融経済概況（令和6年4月）によると、「設備投資は、3月企業短期経済観測調査結果（茨城県）では、2023年度は前年度を下回る見込みながら、2024年度は前年度を上回る計画となっている。生産は、海外経済減速の影響などから、このところ弱めの動きとなっている。雇用・所得環境は、全体として緩やかに改善している。」としています。全体としては緩やかな回復基調にあるものの、海外経済減速が生産量の減少などにより地域経済に悪影響を及ぼす懸念があるため、当財団としましては、引き続き状況を注視しながら、効果的な支援を行っていく必要があると考えております。

このような中、国においては、水素のサプライチェーン構築などのGX促進や、成長産業における国際的競争力強化のための次世代半導体の研究開発に係る取組支援などを通じ、市場や社会経済環境の変化に対応しつつ、中小企業による新たな価値創出を後押ししています。

こうした状況を踏まえ、当財団では、地域中小企業が変化の時代をチャンスと捉えて成長していけるよう、様々な支援を実施して参りました。特に、コロナ渦を契機として社会生活に定着したデジタル技術の活用をさらに促進し、専門家の伴走により地域中小企業が自社内でシステム構築及び運用できる体制を構築するDX支援や、国の目標とする「2050年までの温室効果ガス排出量実質ゼロ」によって求められる脱炭素化に関し、市との連携による、地域中小企業のCO₂排出量の見える化及び削減のためのロードマップ策定・推進支援、また脱炭素化に取り組む第一歩として自社のエネルギー消費状況の見える化を図る「省エネルギー診断」の受診を支援し、地域中小企業の変化に取り残されないための支援を重点的に実施してまいりました。

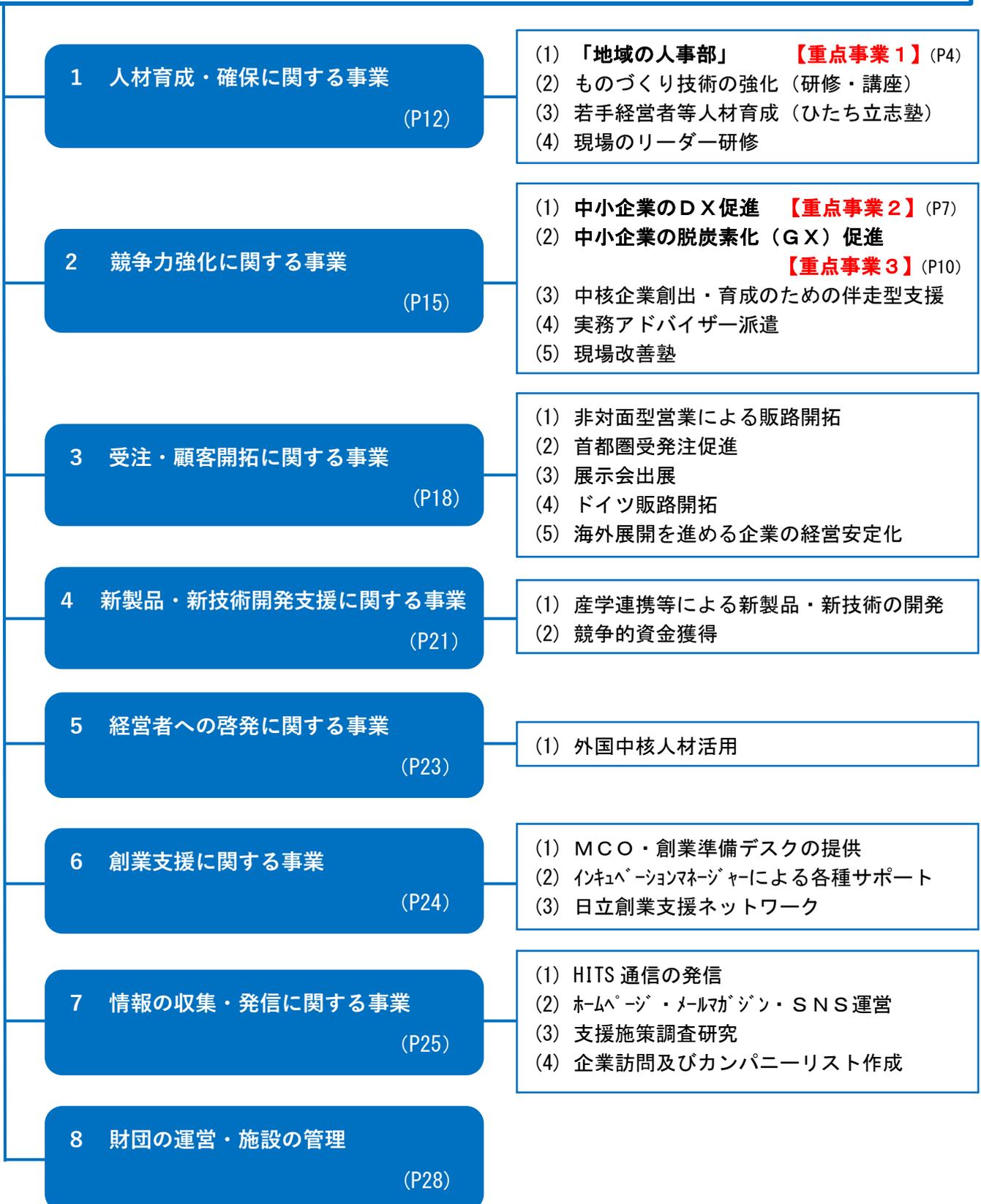
また、研究開発や販路開拓、技能伝承などの地域中小企業における課題について、「人材」の観点から解決を図っていくことを目的とした「地域の人事部」事業を、関東経済産業局の支援により令和4年度から実施してまいりました。これらの重点実施事業は、令和5年度末を期限とした日立市、常陸太田市及び大子町と関東経済産業局との「産業振興・経済活性化に向けた包括的連携に関する覚書(MOU※1)」の対象事業として、当財団の支援エリアを拡大し、地域中小企業に対してより柔軟かつスピーディな支援を念頭に推進してまいりました。

引き続き、地域中小企業の成長及び地域産業の活性化を後押しすべく、様々な産業支援策を効果的かつ効率的に展開してまいります。

※¹MOU：Memorandum Of Understanding（覚書）

事業体系図

(公財)日立地区産業支援センターは、茨城県県北の臨海地域に集積する工業を中心とした産業集積の健全な育成及び発展・活性化を図るとともに、活力ある地域社会の形成と基盤強化に貢献し、もって地域の振興に寄与することを目的とします。



令和5年度重点事業

1 「地域の人事部」事業 【人材育成・確保】[MOU 対象事業]

当財団が「地域の人事部」の主体組織（キーパーソン）を担い、各関係機関と連携し、中小企業の経営者の意識変革や、経営基盤の強化、新製品・新サービス開発、販路開拓、技能伝承、事業承継などの課題解決に向け「人材」の観点から事業に取り組みました。

(1) 人材に関する相談窓口の開設

人材に関する相談窓口を開設し、企業訪問による人材ヒアリングを通じて、人材に関する課題の明確化及び課題解決に向けた伴走支援を実施しました。（相談対応件数 約 30 件）

(2) 人材育成・定着、事業承継等に関するセミナーの開催

若手を中心として人材の採用が困難となっている現在において、自社の経営戦略に根差した人材採用・育成戦略の必要性や、人材定着に係るポイントを学ぶセミナー等を開催しました。

開催日	内容	参加者数
令和5年8月7日	若手採用に向けて中小企業が取り組むべき事項について説明	11名
令和5年8月25日	人材から選ばれる企業になるための「エンゲージメント（この会社に貢献したいという意欲）」について説明	オンラインでの自由参加のため不明
令和5年9月25日	初めての兼業・副業人材の活用及び準備のためのワークショップを実施	6名
令和6年3月18日	若年者の就職状況と課題について説明	27名

(3) 中小企業と兼業・副業人材のマッチング支援

㈱パソナ JOB HUB（国の委託事業者）の持つ人材プラットフォームに登録された兼業・副業人材と中小企業とのマッチングを支援しました。

企業名	支援内容
㈱東日本技術研究所	人材採用に係る専門人材とのマッチング
いばそう企画(有)	新しい葬儀事業のブランディングに係る専門人材とのマッチング
㈱シンカゼ	新規事業企画に係る専門人材とのマッチング

令和5年度重点事業

(4) 「地域の人事部 協議会」の開催

「地域の人事部」事業をスムーズに推進することを目的として、関東経済産業局、(株)パソナ JOB HUB、常陽銀行、日立商工会議所及び日立市との情報共有及び意見交換を行うための協議会を開催しました。

開催日	内容
令和5年7月6日	今年度の方針及び実施内容の確認
令和5年8月22日	ア 参加企業応募状況の確認 イ 中小企業と大手企業OB人材のマッチングに関する議論
令和5年12月8日	中小企業と大手企業OB人材のマッチングに関する議論
令和6年3月14日	ア 1年間の活動振り返り及び令和6年度の計画内容の共有 イ 企業ヒアリングにおいて抽出した課題の共有

(5) 中小企業と研究開発人材との人材交流のためのインターンシップマッチング《茨城県委託事業》

茨城大学等と連携し、学生に対する中小企業の情報や魅力の発信を行うとともに、中小企業へのインターンシップ等を実施することにより、中小企業と大学等の人材交流の活性化を支援しました。

ア インターンシップマッチング（通年実施）

茨城大学等と連携し、学生の中小企業へのインターンシップ等を仲介しました。

参加人数	受入企業数	うち参加企業への就職者数	うち参加企業へのアルバイト採用者数
29名	13社	0名	2名

イ オンライン個別相談（通年実施）

中小企業に関心がある学生に対して公式 LINE で相談窓口を設置し、インターンシップ及び企業見学会の情報発信に加え、学生の意見を聞く機会の確保を図りました。（相談件数10件）

ウ 学生を対象としたインターンシップ説明会の開催

翌年卒業を控える学生を対象として、茨城大学工学部が主催している業界研究及びインターンシップ合同企業説明会に参加しました。

開催日	出展企業数	参加者数
令和5年6月13日～15日	13社	延べ300名

令和5年度重点事業

エ 学生を対象とした企業見学会の開催

学生からのインターンシップ申し込みを促進するため、受け入れ企業の魅力やインターンシップの内容について周知を図るための企業見学会を開催しました。

開催日	見学先企業	参加者数
令和5年9月20日	2社	4名

オ 企業向けセミナーの開催

開催日	内容	参加者数
令和6年3月6日	インターンシップ受入企業4社の若手社員によるディスカッション及び、茨城大学キャリア支援室担当者によるセミナー形式で実施	11名



企業向けセミナーの様子

(6) 茨城県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した事業承継支援

ア 事業承継相談会の開催

茨城県事業承継・引継ぎ支援センター及び日立市と連携して、専門家による事業承継個別相談会を開催しました。

開催日	参加企業数
令和5年10月25日	1社
令和6年2月16日	1社

イ 茨城県事業承継支援ネットワーク連絡会議への参加

県内の自治体や支援機関、金融機関などが、事業承継支援に係る制度や取組の紹介及び担当者間での意見交換を行うための、茨城県事業承継支援ネットワーク連絡会議に参加しました。

令和5年度重点事業

2 中小企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）促進事業【競争力強化】

《日立市委託事業》《経済産業省補助事業》[MOU対象事業]

当センターが中心となって関係機関とコンソーシアムを組み、中小企業に対し様々な支援を行うとともに、DXを通じての地域のコミュニティを構築することを目的として活動し、各機関と連携しながら、地域の中小企業のDXを支援しました。

(1) 専門家によるDX診断・ハンズオン支援

中小企業の課題解決を図るため、DXコーディネーター及びDX専門家が企業の担当者と伴走し、DX導入に係る検討・支援を実施しました。（支援企業数12社）

企業名	テーマ	支援状況
(株)小澤鐵工所 (日立市)	外観検査への画像認識AIカメラの導入	継続支援
(株)大和電機製作所 (日立市)	モータ保守・見守りサービスへの事業変革	完了
(株)ダイニクロ (日立市)	溶接作業の見える化システム	自走化フォローアップ
(株)タンゲ製作所 (那珂市)	設備稼働監視・電力使用量の見える化	自走化フォローアップ
(株)瀬谷製作所 (常陸太田市)	アルミダイカストの作業条件の見える化	継続支援
イイダ電子(株) (ひたちなか市)	社内情報共有「報・連・相」システムの構築	自走化フォローアップ
(株)エムディー精密 (高萩市)	工程間の情報の流れの整流化（生産・工程管理）	継続支援
(株)今橋製作所 (日立市)	kintoneを使った「作業記録アプリ」	完了
アイガ電子工業(株) (日立市)	システムを使ったST管理と新生産管理システムの連携	継続支援
(株)川井鉄工所 (日立市)	工程間の情報の流れの整流化（生産・工程管理）	継続支援
瑞井精工(株) (常陸太田市)	工程間の情報の流れの整流化（生産・工程管理）	継続支援
弘陽電機(株) (太子町) MOU	kintoneを使った消耗品の在庫管理	完了

令和5年度重点事業

(2) DXツールの導入補助

自社の課題解決に必要なDXツールの導入に係る経費及び、DX促進を目指す実証実験の経費に対する補助を実施しました。

企業名	補助内容	補助額
(株)タンゲ製作所	ミニPC、振動センサー付きマイコン及び電流センサーを活用した「設備稼働監視・電力使用量の見える化」	392,000円
イイダ電子(株)	サーバー及びタブレットを活用した「社内情報共有『報・連・相』システムの構築」	158,000円
小松水産(株)	ミニPCを活用した「生産現場の見える化システム」	83,000円
(株)ダイニクロ	ミニPC、電流センサー及びビーコンタグを活用した「溶接作業の見える化システム」	321,000円
合計		954,000円

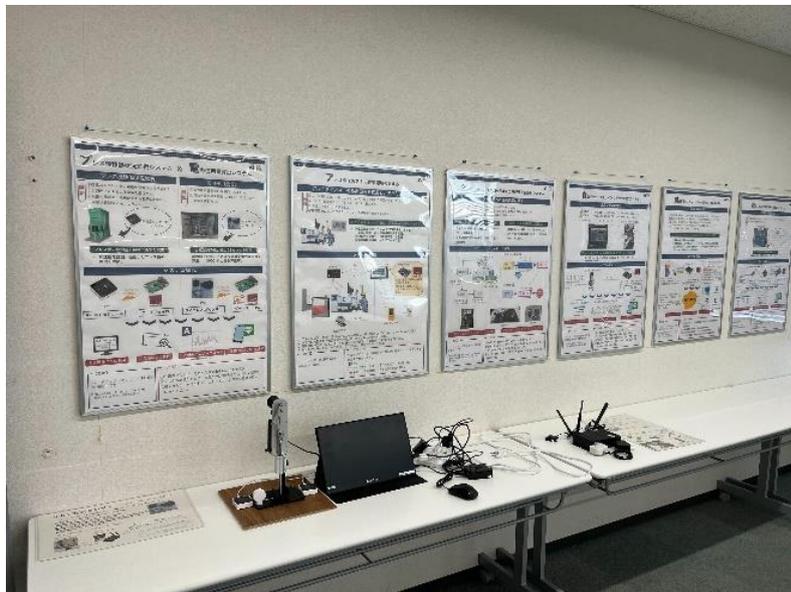
(3) DXに対する知識や理解を深める機会の提供

中小企業がDX活用に対する具体的なイメージを持ち、DX導入に際しての敷居を低くすることを目的として、最新情報収集のためのセミナーや先進事例視察等を実施しました。

実施日	内容	参加者数
令和5年6月30日	武州工業(株)の取組事例発表や、DXコーディネーターによる中小企業のDXに係るポイント紹介を実施	35名 (18社)
令和5年7月21日	画像処理のDXについての勉強会を実施	8名 (7社)
令和5年8月25日	自社の真の課題を見つけ出すことを目的として、中小企業担当者によるワークショップを実施	10名 (6社)
令和5年9月14日	ERP(経営資源配分計画)システム活用についてのワークショップを実施	13名 (11社)
令和5年9月21日	画像処理のDXについての勉強会を実施	7名 (6社)
令和5年10月19日	最先端のDXやSDGsに係る製品・技術等の展示会である「CEATEC2023」の視察を実施	2名 (1社)
令和5年11月24日	製造業のDXにおけるセキュリティ対策について、DXコーディネーターによる勉強会を実施	6名 (6社)
令和5年11月29日	AIによるチャット生成ツールである「ChatGPT」活用についてのワークショップを実施	12名 (7社)
令和5年12月15日	中小企業、支援機関及び専門技術者がDX促進について意見交換するための「いばらきオープンテクノフォーラム2023」に参加	2名 (2社)
令和6年2月28日	最新鋭のスマートファクトリーである(株)日立ハイテクのマリンサイトの視察を実施	27名 (17社)
令和6年3月22日	支援した中小企業によるDX導入事例の報告を実施	46名 (30社)

(4) DX事例を学べる「DXテストベッド」の構築

当センターの2階に、DX事例の体験ができる「DXテストベッド」として整備しました。本施設を中小企業に開放することで、DXに関する支援ノウハウの共有及び横展開を推進しています。



DXテストベッドの様子

令和5年度重点事業

3 中小企業の脱炭素化（GX）促進事業【競争力強化】[MOU対象事業]

中小企業が脱炭素化の潮流に対応していけるよう、脱炭素化の機運を醸成するためのセミナーの開催や、省エネ診断も含めた脱炭素経営の相談対応、支援施策や取組状況についての情報発信を実施しました。

(1) 相談窓口の設置

当センター内に相談窓口を設置し、脱炭素化に係る中小企業への相談対応を実施しました。

開設期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

相談内容	相談件数
CO ₂ 排出量見える化システムに関する照会	34件
省エネルギー診断に関する照会	19件
エネルギー改善に関する照会	13件
補助金に関する紹介	6件
設備導入に関する照会	3件
再エネルギー導入に関する照会	2件
合 計	77件

(2) 脱炭素化促進アドバイザー（専門家）の配置 1名

(一社)エネルギー総合工学研究所 エネルギー技術情報センター長 茶木 雅夫 氏

※ 委嘱期間 令和5年4月24日～令和6年3月31日

内 容	件数
企業へのCO ₂ 排出量算出に関する説明	1回
脱炭素化セミナーでの登壇	1回
日立市中小企業脱炭素経営促進 コンソーシアムへの参加	3回
中小企業脱炭素化促進事業に関する打合せ	3回
合 計	8回

(3) セミナーの開催

地域中小企業の脱炭素への情報共有及び機運醸成のため、セミナーを開催しました。

開催日	内容	参加者数
令和5年8月23日	カーボンニュートラルの概要、取組事例の紹介及び脱炭素経営支援システム（エコアシスト）の案内を実施	17名

(4) ポータルサイトの開設

当財団ホームページ内に専用のポータルサイトを開設し、セミナー開催や中小企業の脱炭素化に係る支援施策の情報を発信しました。

令和5年度重点事業

(5) CO2排出量の見える化及び排出量削減に向けたロードマップ策定支援の実施

日立市が脱炭素経営支援システム「エコアシスト」を活用して促進する、CO2排出量の見える化及び排出量削減ロードマップ策定の取組と連携し、中小企業がエコアシストの利用方法について理解を深めるためのワークショップを開催するとともに、その後のCO2排出量削減に向けた取組の提案やロードマップ策定支援を実施しました。

※エコアシスト：企業の脱炭素推進を支援するための㈱日立製作所のシステム

ア ワークショップ開催

開催日	参加者数
【第1回】 令和5年10月12日、30日、 11月29日	12名
【第2回】 令和5年12月6日、21日、 令和6年1月19日	12名

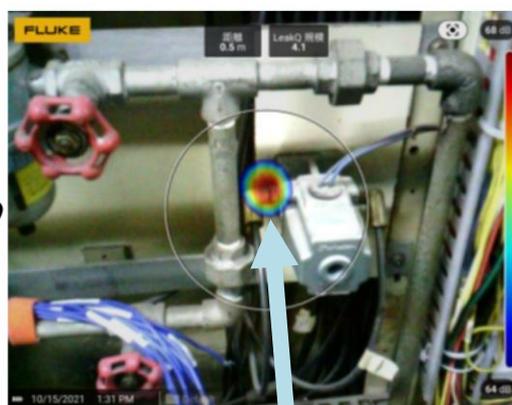
※ 3時間/日×3日間

(6) 省エネルギー診断の実施

日立市が行う「日立市脱炭素設備導入促進事業補助金」と連動して、エネルギー管理に係る資格（国家資格：エネルギー管理士）を有するコーディネーターが企業を訪問して省エネルギー診断を行い、既存設備の運用改善及び、高効率機器・設備導入の提案を実施しました。

提案内容	件数
運用改善の提案	7件
高効率機器・設備の導入の提案	13件
合計	20件

超音波カメラ
FLUKE : FLK-ii



エア漏れ箇所から発生する超音波を検出し画面に表示

令和5年度に導入した超音波カメラによるエア漏れ検査のイメージ

1 人材育成・確保に関する事業

(1) ものづくり技術の強化

ものづくりを主とした中小企業の従業員を対象に、現場で必要となる技術を習得するため、基礎的な研修・講座を実施しました。

ア 図面の見方研修

図面の役割、幾何公差、溶接記号等図面を見る上で必要な知識を習得する研修を実施し、個人及び企業のレベルアップを図りました。

区分	開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
機械編	令和5年 6月12日～14日	15名 (15名)	実務アドバイザー 原 孝介 氏	<ul style="list-style-type: none"> 図面の種類、表示方法、記号の意味、読み方、注意点などの解説 実際の図面を使用し見方、読み方を指導
	令和5年 8月28日～30日	14名 (14名)		
	令和5年 10月23日～25日	11名 (11名)		
	令和5年 12月18日～20日	10名 (10名)		
製缶・溶接編	令和5年 7月12日～14日	10名 (10名)	実務アドバイザー 塚本 孝夫 氏	
	令和6年 3月5日～7日	7名 (7名)		

※ 4時間/日 × 3日間 = 12時間の研修

イ 測定器取扱基礎研修

品質の維持及び向上を目的として、ノギス、マイクロメーター、ダイヤルゲージ、ハイトゲージなどの測定工具を使って製品を測定し、技術の習得を図りました。

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
令和5年 7月20日	12名 (12名)	実務アドバイザー 宮田 清美 氏	測定器の種類、用途、測定物の実測
令和5年 7月21日	10名 (10名)		

※ 4時間/日 × 1日間 = 4時間の研修

ウ 機械加工基礎研修

品質の維持及び向上を目的として、マシニングセンタを使用して間もない方、これから使用予定の方等を対象に、安全教育から基本操作、プログラミングの基礎といった基本的な内容を習得するための研修会を開催しました。

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
令和5年 7月3日～ 7日	4名 (4名)	実務アドバイザー 宮田 清美 氏	<ul style="list-style-type: none"> マシニングセンタの概要 (特徴、加工の種類、用途等) プログラミング (加工手順、切削条件、切削工具の決定等) 加工実習を通じた機械操作の安全に関する注意点
令和5年 9月11日～ 15日	2名 (2名)		
令和5年 11月27日 ～12月1日	3名 (3名)		
令和6年 1月29日～ 2月2日	1名 (1名)		

※ 6時間/日 × 5日間 = 30時間の研修



機械加工基礎研修の様子

エ 3D-CAD操作技術研修

(ア) 部品・アッセンブリ

汎用性が高い3次元CADシステム「SOLIDWORKS」の、作画に関する基本操作方法を実践的に身に付けるための研修を開催しました。

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
令和5年 7月26日～ 28日	6名 (6名)	実務アドバイザー 萩庭 唯久 氏	<ul style="list-style-type: none"> SOLIDWORKSの概要と特徴 SOLIDWORKS基本操作習得 画面構成とメニューバー、ツールバー等の用語解説と操作 教材「初めての3D-CAD SOLIDWORKS入門」

※ 6時間/日×3日間 = 18時間の研修

(イ) 板金・溶接

汎用性が高い3次元CADシステム「SOLIDWORKS」の、板金・溶接図面に関する作成方法を実践的に身に付けるための研修会を開催しました。

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
令和5年 10月26日 ～27日	1名 (1名)	(株)TEK 長谷山 良典 氏	・SOLIDWORKS板金講習 ・SOLIDWORKS溶接講習

※ 6時間/日×2日間 = 12時間の研修

(2) 経営マインドの醸成

ア 若手経営者等人材育成（経営者向け）

社会経済情勢の変化に対応できる実践力を醸成するため、県内外の若手経営者及び後継者を対象に、一橋大学名誉教授関満博氏を塾頭とする自主運営・課題研究解決型の人材育成塾（ひたち立志塾）を推進しました。（塾生77名）

(ア) 実施内容

- a 総会 1回
- b 全体会 6回

開催日	会場	内容
令和5年6月3日	ひたちなか商工会議所	令和5年度開塾式
令和5年7月15日	日立地区産業支援センター	ディスカッション、分科会報告
令和5年10月21日	ホテル天地閣	塾生間異業種交流会
令和6年1月13日	日立シビックセンター	15期生中間報告会、関塾頭講演会
令和6年3月9日	ホテルテラスザスクエア日立	15期生成果発表会
令和6年3月21日	ひたちなか商工会議所	生成AIに関するセミナー

- c 運営委員会 16回
- d 交流会 5回

開催日	会場	内容
令和5年11月20日	富山県高岡市	全国若手ものづくりシンポジウム
令和5年11月24日	東京都八王子市	HFAとの交流会
令和6年1月27日	東京都墨田区	明日のすみだを拓く大交流会
令和6年3月16日	東京都墨田区	フロンティアすみだ塾(第18期)閉講式
令和6年3月16日	東京都八王子市	はちおうじ未来塾 第16期生修了式

(イ) 新規塾生による活動

新規塾生がそれぞれの課題を基にテーマを決め、塾生企業や他地域企業の訪問等の活動を通じて課題解消に向けた研究を実施しました。（新規塾生4名）

イ 現場のリーダー研修（経営者・管理職向け）

中小企業大学校と連携し、経営者・管理職又は将来の管理職候補者を対象に、経営戦略に基づく人材育成計画やリーダーシップ、コーチングスキル、マネジメントスキルなどを習得する研修会を開催しました。

開催時期	受講者数 (修了者数)	講師	内容
令和5年8月 30日、31日、 9月25日	7名 (7名)	中小企業大学校 東京校 波多野 卓司氏	<ul style="list-style-type: none"> ・組織力向上に繋がる人材育成プランの作成手順及び立案 ・リーダーの基本行動、自身の価値観、持ち味の整理、リーダーの役割とリーダーシップ ・コミュニケーション力、部下の動機付けのコーチング
令和6年2月 21日、22日、 29日	7名 (7名)		

※ 6時間/日 × 3日間 = 18時間の研修

2 競争力強化に関する事業

(1) 外部専門家等による課題抽出と解決

ア 中核企業創出・育成のための伴走型支援

中小企業の本質的な課題を見つけ、課題設定からその解決法までを提示する伴走型支援を実施し、並行してプロセスコンサルティングの手法を習得し実践するための職員の育成を図りました。

実施期間	支援内容	支援対象企業数
令和5年4月～ 令和6年3月 (月1、2回程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問や経営者等へのインタビューを通して、支援企業の課題設定及び解決支援を実施 ・フォローアップ対象企業については、関東経済産業局及び日立市とともに、企業訪問や進捗状況のヒアリングを実施 	4社 (フォローアップ 1社、完了3社)

イ 実務アドバイザー派遣

地域中小企業からの支援要請を受け、技能、技術、管理など様々な課題解決のサポートをするため、中小企業実務アドバイザー（登録者：46名）を派遣しました。（派遣企業数26社）

利用目的	主な実施内容	派遣企業数
ホームページ・他IT	HP新規作成／リニューアル、ECサイト	11社
経営支援・競争力強化	補助金申請、事業計画、拡販資料作成	6社
非破壊検査・教育・設計	資格取得支援、社内教育支援	4社
現場改善	5S、機械操作指導	3社
ISO	認証取得支援	1社
拡販	展示会、拡販	1社

(2) 現場カイゼン・品質の強化

ア 現場改善塾

参加企業の生産現場に専門家を派遣し、5Sを中心とした改善活動を支援するとともに、5Sセミナー及び相互見学会を開催し、各社の課題に応じた5S活動を支援しました。

(ア) ハンズオン支援企業及びテーマ

企業名	テーマ
吉野電業(株)	女性でも男性の作業に！男性でも女性の作業に！
(株)ダイニクロ	安全・品質・生産性を向上させる現場作り
(株)高萩サービスセンター	無駄の無いキレイな職場

(イ) 相互見学会開催

開催日	内容	参加者数
令和5年12月7日	自社の今後の5S活動に活かすことを目的として、支援企業3社の相互見学会を開催	42名

(ウ) 現場改善塾成果報告会

開催日	参加者数
令和6年3月15日	21名



現場改善塾成果報告会の様子

イ 品質・環境関連講座

(ア) ISO内部監査員養成

国際認証ISO9001取得後の品質管理システムの維持向上のため、認証を取得している中小企業を対象に、内部監査員の養成及びレベルアップのための研修会を開催しました。

開催日	講師	内容	受講者数 (修了者数)
令和5年 4月24日 ～27日	実務アドバイザー 吉岡 次郎 氏	・規格要求事項の解説 ・内部監査、監査報告書の書き方 ・不適合指摘、模擬内部監査等	16名 (16名)

※ 3時間/日×4日間 = 12時間の研修

(イ) K E S 自己評価員養成

K E S 環境マネジメントシステムで要求されている自己評価員の養成講座を開催し、規格内容を理解するとともに、有効な自己評価の出来る人材の養成を目指しました。

開催日	講師	内容	受講者数 (修了者数)
令和5年 5月22日 ～25日	実務アドバイザー 中西 一雄 氏	・ K E S 規格要求事項の解説 ・ 環境改善目標の設定方法 ・ 自己評価及び報告書について ・ 事例演習等	5名 (5名)

※ 3時間/日×4日間 = 12時間の研修

(ウ) 品質管理基礎講座

取引先等に対する信頼性の向上及び品質保証体制の強化を図るため、不良再発防止に重点を置いた講座を開催しました。

開催日	講師	内容	受講者数 (修了者数)
令和6年 2月5日～ 8日	実務アドバイザー 黒須 祥光 氏	・ 不良低減活動の進め方 ・ 不良原因を究明する手法 ・ 是正処置の進め方、是正処置演習等	14名 (13名)

※ 3時間/日×4日間 = 12時間の研修

(エ) 統計的品質管理入門講座

品質管理の関係者を対象に、「QC七つ道具」をベースにした統計的品質管理の初歩的手法を学ぶ講座を開催しました。

開催日	講師	内容	受講者数 (修了者数)
令和5年 12月4日 ～7日	実務アドバイザー 松本 宏 氏	・ データのとり方、まとめ方 ・ 母集団とサンプリング、グラフの種類と適用 ・ 正規分布、管理図、工程能力指数等	6名 (6名)

※ 3時間/日×4日間 = 12時間の研修



品質管理基礎講座の様子

3 受注・顧客開拓に関する事業

(1) 非対面型営業による販路開拓

安定した企業経営を支える営業体制の強化を図るため、WEBを活用した非対面型のオンライン営業による販路開拓支援を実施しました。

ア セミナー開催

開催日	講師	テーマ	参加者数
令和5年9月8日	(株)NC ネットワーク 取締役 大塚 哲久 氏	売上の柱をつくるための WEBマーケティング	14名
令和5年11月24日	(株)LITA マーケティング統括部 広報責任者 庄子 恵理 氏	時代にあった最新の広 報！「良い商品はPR×SNS で売れる」	36名

イ 非対面型営業ハンズオン支援（専門アドバイザー派遣）

WEB・動画制作・写真撮影等の専門アドバイザーの中小企業への派遣により、ホームページの制作や更新、セキュリティ向上、WEB上のコンテンツ、展示会等で流す製品説明動画制作に係る取組を支援しました。

(ア) 実施期間 令和5年8月～令和6年3月

(イ) 支援企業及び支援内容

企業名	支援内容
(有)進栄工機	ホームページ新規制作支援
(株)林物産	ホームページ更新
(株)DEVELOPTONIA	ホームページ更新

ウ パワーポイントを使った会社PR動画作成実践教室

区分	開催日	講師	内容	参加者数
入門編	令和5年 9月4日、 11日、25日	合同会社アズオン 代表 佐野 真理子 氏	・画像加工/POP等の説明、デザインのポイント説明 ・資料作成時のフレームワーク ・成果発表、個別指導	6名
応用編	令和6年 2月5日、 19日、26日		・PPTでの会社PR動画事例紹介、ストーリーの考え方 ・音楽吹込み、ナレーション録音、自動再生のポイント ・動画mp4へのエクスポート、YouTubeの利用方法	4名

※ 3時間×3日間＝9時間の研修

エ J-Goodtech (ジェグテック) 活用支援

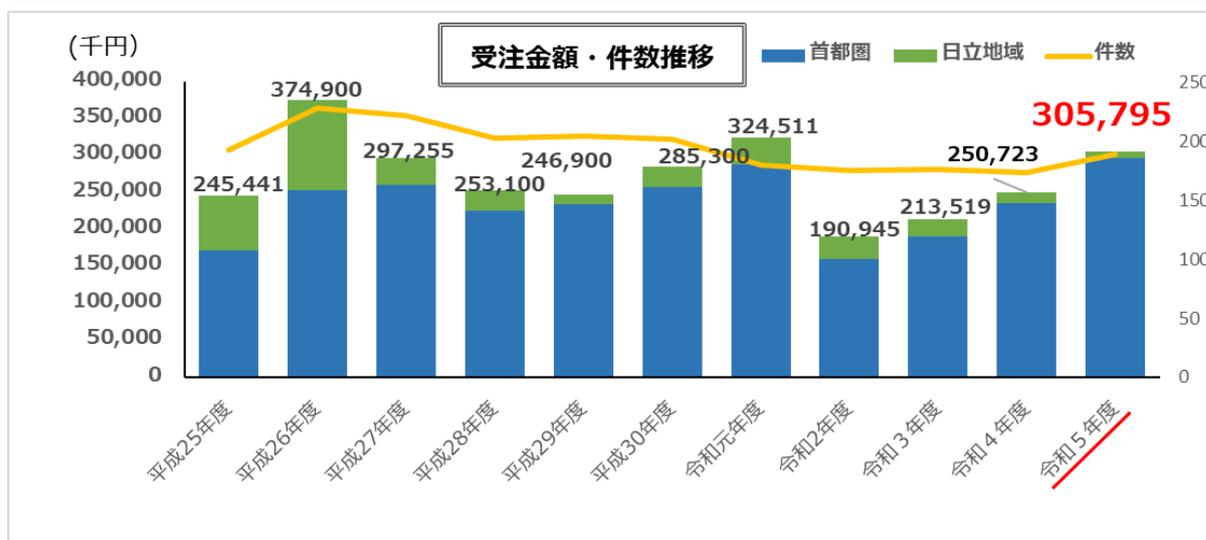
中小企業と、大手も含む国内外企業とをつなぐビジネスマッチングサイト「J-Goodtech」の、掲載情報を充実させるためのアドバイスなど、マッチング成功率を高めるための支援を実施しました。

(ア) 支援企業数：83社（うち48社が、サイト内における情報充実度100%の評価を達成）

(2) 首都圏受発注促進

首都圏受発注コーディネーターを配置し、中小企業に対する首都圏企業からの発注情報の提供及びマッチング支援を実施しました。（受注金額累計：前年度比122%）

項目	首都圏	日立地域	合計
受注件数	168件 (19社)	21件 (3社)	189件 (22社)
うち新規	4件 (3社)	—	4件 (3社)
受注金額	297,216千円	8,579千円	305,795千円
うち新規	7,027千円	—	7,027千円



受注金額・件数推移図

(3) 専門展示会出展

中小企業の販路開拓を支援するため、東京都で開催される展示会に当財団でブースを確保し、加工技術や製品などの展示が可能な専門性の高い中小企業と共同出展しました。

展示会名	開催日	会場	出展社数	ブース来場者数	商談状況
Medtec Japan	令和5年 4月19日～21日	東京ビッグサイト 東館	9社	740名	新規受注 1件 見積依頼 5件 商談 93件
機械要素技術展	令和5年 6月20日～23日	東京ビッグサイト 東館	9社	900名	新規受注 3件 見積依頼 10件 商談 55件

(4) 海外販路開拓

ア ドイツ販路開拓支援

日立地区の中小企業を中心とした企業グループとドイツ・バーデン・ヴュルテンベルク(BW)州の企業群(クラスター)との間でビジネス交流を進め、中小企業の販路開拓を後押しすることを目的として、中小企業によるドイツ展示会出展支援、交流先クラスターとの打ち合わせを実施しました。

(ア) 実施期間 令和5年11月11日～令和5年11月20日

(イ) 地域中小企業によるドイツ展示会出展支援

展示会名	会期	内容	場所	出展企業
MEDICA/COMPAMED	令和5年 11月13日～16日	医療機器加工技術、 部品材料展	デュッセルドルフ	(株)エムテック (株)幸手スプリング
Space Tech Expo Europe	令和5年 11月14日～16日	宇宙産業サプライチ ェーンおよびエンジ ニアリング展	ブレーメン	(株)菊池精機
product r onica	令和5年 11月14日～17日	国際電子部品製造機 器専門展	ミュンヘン	(株)大貫工業所



交流先クラスター訪問時の様子

イ 海外展開を進める企業の経営安定化

海外での受注獲得を目指す中小企業が現地企業との商談実施に際して活用した、海外支援専門家に係る費用の補助を実施しました。

利用企業数	内容	成果
2社	展示会場等における商談の事前調整 及び商談への同席によるサポート	商談支援 150件 見積依頼 16件 技術提案依頼 1件

4 新製品・新技術開発支援に関する事業

(1) 産学連携等研究開発補助《茨城県委託事業》

茨城県からの支援により、県北地域の中小企業と大学等とが連携して行う研究開発事業等の取組について、その経費に対する補助を実施しました。(補助率 10/10、補助上限額 100 万円、補助金交付企業数 10 社)

申請企業名・共同研究先機関名	テーマ
(株)大貫工業所・茨城大学	多結晶ダイヤモンド成膜金型によるドライブレス量産試作
(株)宮本製作所・茨城大学	圧粉体の切削加工を対象としたシミュレーションに基づく切削条件最適化システムの開発
(株)共和プリサイスマニファクチャリング ・茨城大学（茨城県産業技術イノベーションセンター）	金属積層造形による F S W ツールの試作開発
(株)三友製作所・千葉工業大学	長寿命吸引型プラズマガンの開発
(株)今橋製作所・茨城工業高等専門学校	チタン製デザインガラスの製品化及び製造プロセスの確立
(株)日港製作所・茨城大学	鉄アモルファス材を利用したラジアルギャップ型モータステータ製造プロセスの基礎検討～アモルファス材のカシメ技術開発
(株)イーピーテック・筑波大学	医薬品の溶解性評価用胃消化シミュレーターの開発
(株)エムテック・筑波大学	キャニキュレイトッドスクリュウの開発
(株)菊池精機・茨城大学	超小型人工衛星用太陽センサー国産化の開発
S.P. エンジニアリング(株) ・(株)elleThermo（東工大ベンチャー）	半導体増感型熱利用発電（S T C）量産システム開発

(2) AM事業研究会

産学連携等研究開発補助を活用し、中小企業と地域大手企業、茨城県イノベーションセンター等と連携し、金属積層技術の用途として可能性が見込まれる、高耐熱金属粉末材料を用いた摩擦攪拌接合（F S W : Friction Stir Welding）用ツールを試作。鉄系材料の接合耐久試験を行なうとともに接合部分の金属結晶状態を観察することで、一般的な既存品のツールと比較して、より優れた耐久性と信頼性が得られることを実証し、高付加価値な F S W ツールによる当地域でのビジネスモデル構築の可能性を検討しました。

ア 最新技術動向取得及び情報発信

金属積層造形関連展示会視察や、学会活動への参加を通じて最新の技術動向を取得し、会員向けの会報、展示会出展により情報発信を行いました。

実施日	項目
令和5年6月22日～23日	次世代3Dプリンター展 視察
令和5年6月27日	AM研究会（日本金属学会産学協創研究会） 第4回委員会 リモート参加
令和5年7月6日	第6回会報発行
令和5年9月13日	AM研究会（日本金属学会産学協創研究会） 第5回委員会 リモート参加
令和5年10月26日～27日	おおた研究開発フェア 出展
令和5年11月28日	AM研究会（日本金属学会産学協創研究会） 第6回委員会 リモート参加
令和6年2月1日	TCT ジャパン展示会 視察
令和6年3月21日	第7回会報発行

(2) 競争的資金獲得

個別のテーマに応じた補助金等申請書のブラッシュアップ及び補助金に係る情報提供など、中小企業が国等の競争的資金を獲得するための支援を実施しました。

ア 補助金等申請個別相談

名称	相談件数	採択件数
事業再構築補助金	2件	2件
ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金	6件	4件
省エネルギー投資促進支援事業費補助金	1件	1件
小規模事業者持続化補助金	1件	1件
中小企業最低賃金引上げ支援対策費補助金（業務改善助成金）	1件	1件
先端設備等導入計画	12件	12件
合計	23件	21件

(採択率91%)

5 経営者への啓発に関する事業

(1) 外国中核人材活用

少子化に伴う人材不足の打開策である外国人材活用を促進するため、専門的な知見を有する茨城県外国人材支援センター、ジェトロ茨城及びJICA筑波と連携して事業を実施しました。

ア 外国人材活用支援アドバイザー（専門家）の配置 1名

(同) A O I パートナーズ代表の吉澤智也氏にアドバイザー委嘱し、外国中核人材活用に係る下記支援を実施しました。

- (ア) セミナー等における外国中核人材採用制度や活用事例についての紹介
- (イ) モンゴル人材による日立市でのスタディーツアーに係る企画・実施
- (ウ) 外国中核人材活用に係る個別企業相談対応

※ 委嘱期間 令和5年5月1日～令和6年3月31日

イ 研修会の開催

地域中小企業の外国人材採用促進のため、外国人材の在留資格の点検及び採用雇用時に必要な労務管理や届出についての研修会を開催しました。

開催日	内容	参加者数
令和5年 6月28日、 7月11日	在留資格と採用雇用のポイントや雇用後の手続きと労務管理の点検、外国籍社員のキャリア形成と日本語教育、モデル企業事例について紹介	8名

ウ モンゴル人材によるスタディーツアーinひたちの開催

令和4年度に構築したモンゴルとの関係をさらに発展させるため、JUGAMO(日本帰国留学生の会)の協力のもと、モンゴルから若手経営者及びモンゴル高専関係者の合計10名に日立地区にお越しいただき、企業及び関連施設の訪問や交流会を行うスタディーツアーを実施しました。

- (ア) キックオフセミナー

開催日	内容	参加者数
令和5年 8月9日	① モンゴル国の概要と人的・物的交流の可能性について ② 日本帰国留学生の会(JUGAMO)とのトークセッション	13名

(イ) スタディーツアー

日程	内容	参加企業数
令和5年 10月15日～ 10月20日	地域企業及び施設への訪問・見学 参加者による個別発表・交流会	訪問先企業：8社 交流会参加企業：17社



企業訪問の様子

(ウ) スタディーツアー実施報告会

開催日	タイトル・内容	参加者数
令和5年 12月5日	スタディーツアーの振り返り及びモンゴル側参加者と日立地区側参加企業によるクロストークを実施	15名

6 創業支援に関する事業

(1) MCOインキュベーション

新規創業及び創業者の事業安定化を図るため、MCO利用者等に対する支援を実施しました。

ア MCO入居状況（令和6年3月31日現在）（稼働率 77.9%）

101号室	創業準備デスク
102号室	（空室）
103号室	（空室）
104号室	スカイウィッシュ協同組合
105号室	オフィス里地里山
201号室	（株）今橋製作所
202号室	（株）くじらおか不動産
203号室	ベルウッド
204号室	（株）DEVELOPTONIA
205号室	ケアプラン陽咲



MCO Micro Creation Office
マイクロ・クリエイション・オフィス

(2) 日立創業支援ネットワーク

国から産業競争力強化法の認定を受けた日立市の創業支援事業計画に基づき、日立市、日立商工会議所及び日本政策金融公庫日立支店と連携して、以下の取組を実施しました。

ア 個別相談会

MCO利用者に加えて地域の創業希望者及び創業間もない方を対象として、専門家による個別相談会を実施しました。

期間	回数	専門家	相談件数
令和5年4月～ 令和6年3月	11回	(有)つくばインキュベーションラボ 取締役 上原 健一 氏	25件

イ 連携機関との協力

- (ア) 連絡会議開催 (1回)
- (イ) 日立商工会議所が開催した創業塾への協力

7 情報の収集・発信に関する事業

(1) HITS通信の発信

HITS通信を毎月発行し、当財団の事業やセミナー等について発信することで、事業者だけでなく市民に対して、日立地区の「ものづくり」を身近に感じてもらう機会を創出しました。

第7号	センター長に聞く、HITSのこれから。
第8号	インターンシップマッチング事業
第9号	DX促進事業
第10号	世界的なカーボンニュートラルの流れ HITSでできること
第11号	日立地区×グローバル人材 ～産業交流の可能性～
第12号	今年の振り返り



(2) SNS・ホームページ・メールマガジン・ダイレクトメールによる発信

各種事業のPR、公募、成果報告について、SNS、ホームページ、メールマガジン、ダイレクトメールを活用し、効果的な情報発信を実施しました。

ア SNSによる発信（令和6年3月31日現在）

媒体名	投稿数	閲覧数
Instagram (インスタグラム)	141件	16,442件
Facebook (フェイスブック)	141件	4,496件
YouTube (ユーチューブ)	10件	307件



Instagram



YouTube



Facebook



SNS掲載例

イ ホームページ・メールマガジン・ダイレクトメール

ホームページ	情報掲載回数	78回
	訪問者数	22,358件
メールマガジン	発行回数	24回
	登録者数	451名
ダイレクトメール発送数		16回、延べ5,375件

(3) 支援施策調査研究

地域の産業構造全体の課題を明確化し、地域特性に合わせた産業振興施策の立案や中小企業支援に繋げていくことを目的として、一橋大学名誉教授である関満博氏の協力の下、中小企業へのヒアリング調査及び調査結果を分析してまとめた書籍制作を実施し、日立市をはじめとした自治体や支援機関、中小企業、大学等へ書籍を配布した。（ヒアリング実施企業数84社、配布書籍数377冊）



制作した書籍



ヒアリングの様子

(4) 企業訪問及び企業データベースの作成

当財団事業の利用促進を図るため、組織的、計画的な企業訪問を行いました。個別事業の案内を行うほか、各企業の課題や当財団に対する要望を把握し、個別企業に応じた対応策の提案を実施しました。(企業訪問回数 442 回)

また、訪問した企業や当財団の事業を活用した企業情報を登録し、担当者間及び市との間における情報共有を図るための企業データベースを作成しました。

ア 企業データベースの作成

【地域別に見た当財団との接点がある企業・団体の数】(令和6年5月9日現在)

地域	企業数	県北地域	県北臨海地域	令和5年度に当財団を活用した企業数	備考
北茨城市	24	659	650	8	
高萩市	19			9	
日立市	475			116	
常陸太田市	28			9	
東海村	18			9	
那珂市	16			5	
ひたちなか市	70			18	
常陸大宮市	5			2	
大子町	4			2	
上記以外	56				
合計	715	659	650	189	

8 財団の運営・施設の管理

(1) 組織

ア 役員等

(令和6年3月31日現在)

役職名	現員数	備考
評議員	7名	
理事	7名	理事長 1名 副理事長 1名 常務理事 1名
監事	2名	

イ 職員

(令和6年3月31日現在)

職名等	常勤	非常勤	委嘱	計
常務理事(センター長)	1			1
事務局長	1			1
チーフコーディネーター	1			1
係長	1			1
コーディネーター	6	3		9
DXコーディネーター			1	1
首都圏における受発注コーディネーター			1	1
機械操作指導員			1	1
係員	2	1		3
計	12	4	3	19

ウ 理事会・評議員会

会 議 名	開 催 日 (みなし決議日)	案 件
令和5年 第2回臨時理事会	(5月19日)	議案第4号 令和5年第2回臨時評議員会の開催について
令和5年 第2回臨時評議員会	(5月19日)	議案第3号 理事の選任について
令和5年 第2回通常理事会	5月23日	議案第5号 令和4年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業報告及び決算について 議案第6号 令和5年定時評議員会の開催について 報告第2号 専決処分について(令和5年度公益財団法人日立地区産業支援センター補正予算(第1号)) 報告第3号 業務執行理事の職務執行状況について
令和5年 定時評議員会	6月27日	議案第4号 令和4年度公益財団法人日立地区産業支援センター決算について 議案第5号 公益財団法人日立地区産業支援センターの理事の選任について 報告第1号 令和4年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業報告について
令和5年 第3回臨時理事会	(6月27日)	議案第7号 理事長の選定について 議案第8号 副理事長の選定について 議案第9号 常務理事の選定について
令和6年 第1回通常理事会	2月27日	議案第1号 令和6年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業計画及び収支予算について 議案第2号 公益財団法人日立地区産業支援センター職員、任期付職員及び非常勤職員の給与改定に伴う関係規程の一部を改正する規程の制定について 報告第1号 業務執行理事の職務執行状況について
令和6年 第1回臨時理事会	(3月28日)	議案第3号 令和6年第1回臨時評議員会の開催について
令和6年 第1回臨時評議員会	(3月29日)	議案第1号 評議員の選任について 議案第2号 監事の選任について

(2) 公共施設の管理

ア 利用状況

(ア) 総数

利用件数	807 件
利用者数	11,497 名
使用料収入	4,681,240 円

(イ) 目的別利用状況

使用目的	区分	件数 (件)	比率 (%)	人数 (名)	比率 (%)
見学		8	1.0	36	0.3
会議		520	64.4	10,776	93.7
機器利用		128	15.9	344	3.0
相談		51	6.3	111	1.0
情報交換・打合せ		27	3.3	73	0.6
その他		73	9.1	157	1.4
合計		807	100	11,497	100

イ 機器更新及び修繕等の状況

更新・修繕日	内容
令和5年4月12日	みんなのトイレ漏水修繕
令和5年11月10日	微小硬さ試験機更新(市予算)
令和6年1月17日	MC O204号室空調修繕
令和6年1月19日	消防設備(感知器・誘導灯)修繕
令和6年2月2日	駐車場外灯・交流サロンLED修繕
令和6年3月14日	本館屋上防水工事(市予算)
令和6年3月15日	駐車場けやき伐根工事(市予算)
令和6年3月31日	男子トイレ暖房便座修繕
令和6年3月31日	交流サロンブラインド修繕



微小硬さ試験機